

特別寄稿

現在協会・保団連は全国で50万筆を目標に窓口負担引き下げや国保料引き下げなどを求める請願署名に取り組んでいる。そのなかで、愛知県保険医療協会理事で歯科医の大敷憲治氏は、署名を通じて患者と信頼関係を強め、医院経営を活性化させている。大敷氏に自身の経験について投稿してもらった。

後輩F君への手紙

署名活動を積極的にやると、患者さんが戻ってきてくれる不思議

大敷 憲治 (愛知県保険医療協会理事)

F君、返事が遅れてゴメン。言い訳になるけど、診療後、いままでに来院された患者さんへ、毎日50通、署名用紙を送っていたもので、君からのメールを見落としていたよ。ところでF君、患者さんが減り、先行きが心配ですね。こんな状態で、協会の活動なんかやっているといいのか?と焦る姿が、目に浮かびます。たまたま僕は、「保険で

な田舎なんだもの。でも、友人が、「この署名は絶対成功させる」といつの間にか500筆集めた。それに励まされ、意を決して署名を始めた。半月、首沙汰が無くて、心配で胸を痛めた。

でもそれから徐々に署名が集まり、少し遅れて患者さんが増えてきた。とにかくがむしゃらに署名用紙を送ったよ。不思議だね。署名活動は政治的で嫌われると思っただけで、どんどん集まって来た。だってこれは保守的

付に来るなり「先生の言う通りだ」として、署名を渡してくれた。その声が大きかったので、治療中の僕にまで届いたよ。署名のお願いに、歯科医療の実態として技工士のごにも触れたんだ。それ

から治療にあたる様にならね。F君、今年10年前に中断した方を二人治療して貰う医療を実現する力になるのだから、こんな嬉しいことはない。さあ、Do Something!

苦勞されていたことを知り、おもわず涙が溢れた。僕は、患者さんを診察だけじゃなく見たいな。僕もその署名活動で、一生懸命になるよ。患者さんの願いを明らかにしたこの署名は、やればやるだけ共感の輪が広がり、患者さんが信頼して来てくれる。僕は本当に協会の活動をやっていてよかったよ。感謝している。

F君、もし先輩の僕を信頼してくれるなら、僕が治療にあたる様にならね。F君、今年10年前に中断した方を二人治療して貰う医療を実現する力になるのだから、こんな嬉しいことはない。さあ、Do Something!

君に逢えた日

大西 崇(河南町)



リレーエッセイ 258

「おぎゃー」と元気よく大きな声が部屋中に響いた。待望の第一子の誕生である。妻のお腹の中に授かってから約10カ月もの歳月を経てやっとの対面であった。

学生時代を含め卒業してから僕は何れも子どもは好きではなかった。特に研修医時代に初めて診察した患者さんが小児患者さんでなかなか自分の思うように治療が進まなかったこともあり、子どもとはなんて扱いが難しいのである。思った。その当時は美

赤ん坊との共同生活が始まった。最初は寝顔がかわいいなあぐらいにしか思っていなかった甥っ子が日がたつにつれてなん

と愛らしく思えることか。初めてオシメも替えてもらった。そうだった。日々がしばらく続くと僕

た。日々の診療においても子どもの患者さんに対する接し方が自然とやさしくなった。それから逆になつてしまったのである。妻が妊娠したとわかった時は、言葉がでこないほど感動し、自然と涙が溢れてきた。また見ぬ我が子のことを想うだけで楽しくなれた。妊娠6、7カ月頃からお腹に向かっ話しかけると中

でちゃんと聞いていると教えられてからは毎日話しかけていた。その他何かいい情報を聞く度、それを実践し続けたのであった。出産するにあたって立ち会い出産が可能



絵 藤田 進 (河内長野市)

講習会へ参加ご希望の方は、必ず事前に協会までお申し込み下さい。

協会行事案内

お申し込みは 電話 06-6568-7731 ファクス 06-6568-0564

Association activities list including: 東大阪・八尾・柏原地区主催「チーム医療—これからの病診連携・地域医療連携における歯科の役割—」、新規個別指導対策講習会、新規個別指導対策と日常のカルテの書き方注意点、院長を守りスタッフのやる気をささえる雇